

オンギ川住民運動の会と巡る モンゴル共生実習(スタディツアー)のお誘い

坪内俊憲

2019年3月10日



2016年



2018年



2017年



2011年



2012年



2013年



2014年



2015年



1995年 オンギ川



金鉱山開発



2000年 オンギ川



2016年 オンギ川

星槎大学モンゴルスタディツアー（共生実習）

1990年、モンゴルは市場経済体制への移行とともに惨事便乗型市場主義の国際企業による資源収奪が始まりました。結果、たった5年でびわ湖と同じ大きさのウラン湖が消失し、ウラン湖への唯一の流入河川で、ゴビ地域最大のオンギ川が数百キロが断流しました。2002年、流域住民によるオンギ川住民運動の会が立ち上がり、命の水を取り戻す命がけの活動が始まりました。

オンギ川住民運動の会設立に関わった私は、2011年、会員とともに生活し、開発と環境、国際金融機関と企業の活動と住民生活破壊の現実を知り、命の水の消滅と住民生活破壊が私たち日本人の生活と深い関係があることを知り、何が出来るかを考えるモンゴル共生実習をはじめました。水が戻り始めたウラン湖、オンギ川をさかのぼり、源流地域で無秩序に行われる金鉱山開発を見て、開発が作り出す破壊、差別、貧困という社会問題を体験し、自らの生活、人生を考えてもらう実習です。2013年頃、モンゴル全土で鉱山開発による家畜、人の健康被害が顕著になってきました。そのような状況の中、母なる大地を守ろうとした住民運動のリーダーが6人不当に逮捕され、2人のリーダーは他殺としか考えられない原因で死亡しました。2人は亡くなる前、水を守る法律を死守してくれと言い残しましたが、モンゴル国会は法律を改悪してしまいました。2015年9月、リーダーの一人が釈放され、裁判でも鉱山会社の偽証が証明され、再び活動が再開できました。2016年、釈放されたリーダーとウラン湖からオンギ川源流を巡り、戻り始めた命の水と戻ってきた水鳥を見て感激し、より良い未来を作るために何が出来るか話し合いました。2017年は、法律改悪により鉱山が操業再開した為、オンギ川は再び断流、ウラン湖に流れ込む命の水を消えていました。2018年は2年連続の大雨が降り、ゴビ砂漠は氾濫して、緑の砂漠が出現しましたが、鉱山の操業は止まらず、水源地域の破壊が拡大している様子を見ることになりました。

残念ながら、航空券代が高騰して実習費用が高くなってしまいました。多国籍企業による資源搾取現場を見て世界の現実を知り、モンゴルの優しい友人たちの自然とともに暮らす生活を体験し、友人たちの生活破壊に自らの生活、仕事、政府が関係していることを学び、これからの人生を考え、生きたい未来を創造する基盤を獲得する実習と考えています。星槎大学の学生さんに限らず、どなたでも参加できますので、連絡をお待ちしています。

連絡先: 坪内俊憲 tsubouchi@seisa.ac.jp 星槎大学大学院教育学研究科

実施旅行会社: (株)ピース・イン・ツアー 担当: 山池信義 <yamaji@pitt.co.jp>

TEL: 03-3207-3690 / Fax 03-3207-6343



全行程約2,100km, 標高800~2300メートルのドンドゴビ、ウムノゴビ県からウブハンガイ県を巡ります

月日(曜日)	時間	内 容
8月24日 (土)	14:40 18:50	MIATモンゴル航空にて空路ウランバートルへ 到着後、入国審査等ホテルへ 住民運動のリーダーによるオリエンテーション
8月25日 (日)	07:00 16:00 17:30	ウムノゴビ県マンダルオボ郡へ移動(450km/約10時間) オンギ平地に住む遊牧民一家ザングラー氏宅ホームステイ ツアープログラムの概要と安全に関する話、ホストファミリーの家の仕事のお手伝い、オンギ川住民運動の説明(ムンフバヤル、エルデネ)
8月26日 (月)	08:30 10:29 13:00 15:00	朝食後、移動 消えたウラン湖観察 遊牧民ミヤグマルジャウ氏宅ホームステイ ラクダ乗り / 水汲み手伝い
8月27日 (火)	08:00 11:30 14:00 15:30 18:00 21:00	ホストファミリーの朝の仕事のお手伝い サイハンオボソム、ツォグト山、オンギ寺 視察 遊牧民ジンフー氏宅昼食 オンギ川公園散策 遊牧民ムンフバヤル氏宅ホームステイ ホストファミリーとシャガイ遊び、ヤギの子わけ、乳搾り
8月28日 (水)	08:00 12:00 13:00 20:00	ホストファミリーのお仕事のお手伝い バツェンゲル氏宅訪問、昼食 ロシアオリーブ収穫手伝い タラクト郡チンバット氏宅ホームステイ、ホストファミリーと会話、伝統遊び
8月29日 (木)	08:00 10:00 13:30 16:00 18:00	朝食後、移動 ホストファミリーのお仕事のお手伝い ウブハンガイ県オヤンガ郡ズーンウヤンガ川トウウムチュドル氏宅ホームステイ ヤクの乳搾り、ヤクの放牧 伝統習慣について話し合う
8月30日 (金)	08:10 10:00 13:00 16:30 16:30	ヤクの乳で作ったクリームの朝食 鉱山サイトへ移動、リーダーによる説明。惨事便乗主義国際資本鉱山開発の影響を観察する。 ウブハンガイ県ズーンバヤンウラン郡の遊牧民オイドウ氏宅で昼食 オンギ川運動NGOの理事バヤルムンフ氏宅ホームステイ 乗馬体験、ヤギの命をいただく夕食
8月31日 (土)	7:00 13:00 17:00 18:30	朝食後ウランバートルへ(400km/約8時間) 途中、昼食 ホテル到着 夕食と振り返り、まとめのミーティング
9月1日 (日)	8:55 13:40	MIATモンゴリアン航空にて成田へ 到着後、入国審査等、解散



旅行代金	※締め切り時(7月11日)時点での参加人数によって金額が決定となります。6月16日までに氏名登録、7月9日までに申し込み(3万円)が必要です。旅行代金以外に燃油サーチャージ・空港諸税7,790円が別途かかります(3月8日現在)。詳細は実施旅行会社から連絡します。	
6名~8名の場合(TWN利用)	268,000円~286,000円	
8名~18名の場合(TWN利用)	268,000円~288,000円	
シングル追加料金(ウランバートルでのホテル): ¥11,000		

連絡先: 坪内俊憲 toshinoritsubouchi@gmail.com 星槎大学大学院教育学研究科
 実施旅行会社: (株) ピース・イン・ツアー 担当: 山池信義 <nyamajiji@gmail.com>
 TEL: 03-3207-3690 / Fax 03-3207-6343